

■参加者 29名(横山13名、南横山14名、特認2名)

■当日の主な質疑

<p>【教育内容等について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「英語教育などの研究モデル校の指定」、「他校にない特色・魅力ある部活動の創設」というのは具体的にはどういうことなのか。「放課後学習環境の充実等」というのもよく分からないので、分かりやすく説明して欲しい。 ● 他校にはないクラブをつくっても、他校になければ試合ができないし、披露する場がなければ意味がない。 ● 新しいクラブをつくるより、既存のクラブに顧問として専門的な人を入れて指導してもらえるほうがより魅力があると思う。 ● 新校舎の建設中のクラブ活動についてはどうなるのか。 <p>【特認について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1学年41人から60人を上限とすると書かれていて、1クラス25人規模を研究するとあるが、1クラスの上限が30人ということに変わりはないのか。特認連絡会の保護者アンケートでも少人数教育が良いという多くの意見がある。20人と30人では全然違う。第3回審議会ではこの人数のままですべて答申となってしまうのが気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英語教育については、2020年から小学校5、6年生で教科化されることを踏まえ、小学校1年生の段階からコミュニケーションを図れるような様々な視聴覚教材を活用したり、また、中学校の先生が小学校低学年に教える回数を増やしていくというような取組みも図っていきます。 <p>部活動については、関西トランスウェイスポーツスタジアムを利用して女子サッカーやゴルフ、ボルダリング等他校にない新しいクラブを検討します。</p> <p>放課後学習環境については、例えば民間企業を誘致し、学校で塾のようなものを実施することも検討します。</p> ○ 他校にないめずらしいクラブであれば、対外的な交流は課題となりますので、総合的に判断した上で、どのようなクラブ活動を実施するのが望ましいか検討していきたいと考えます。 ○ 専門的な指導員を入れることは重要と考え、市としても検討しています。 ○ 今ある全てのクラブが活動できるかについては、もう少し調査研究が必要ですが、グラウンド等が利用できない場合の代替措置は必要と認識しており、関西トランスウェイスタジアム等の活用も検討します。 ○ 1クラスの数については、審議会で確定するものではなく、今後、準備委員会で皆さんのご意見を伺いながら検討していきます。
---	---

<ul style="list-style-type: none"> ● 特認の希望者が最近少なくなっているのではと思う。小中一貫の特認校にするなら、全国各地から見学に来るくらいの特色ある学校運営をしていかないと、将来的に減っていくのではと危惧する。 ● 移行期の通学手段として、中学生の特認バスを前倒しすることを検討していただけたら、前向きな判断材料となり、特認の確保にもつながると思う。 <p>【学校開校準備委員会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開校準備委員会の委員の選出は誰がどの時期にするのか。 炭焼きを南横山小で実際に体験した校長先生、教頭先生や、特認立ち上げに貢献し、今の魅力ある学校を作り上げてくれた先生方をぜひ開校準備委員会に入れて欲しい。 <p>【施設について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新しい学校を建設するのであれば、避難所としての機能も充実して欲しい。 <p>【跡地活用について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 南横山小の活用については、年1回だけの実施だけでなく、継続性をもたせた教育内容を検討して欲しい。 ● 南横山では炭焼き等他の学校にないことをしてきて、それをなくしてはいけないと思うが、南横山の跡地については、義務教育学校だけに限らず、市内全域の学校園で活用していただくのが良いと思う。 特色ある学校にするために、今までの南横山で推進してきたことも踏まえつつ、新しい取り組みも考えて欲しい。 ● 横山小の跡地には全天候型の屋内プールを造って欲しい。 夏季だけでなく年間通じての水泳の授業をす 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年数を経るたびにより魅力ある学校になるよう全国の先進的な取組みを学び、地域の方々とも思いを共有しながら、今後も取り組みます。 ○ 移行期の対応は重要と考えており、今年度は保育園や広報での周知に努めた結果、多くの応募を得られました。今後、特に中学生に対する特認バスの措置については重要と認識しております。 ○ 開校準備委員会の具体的内容については今後検討していきますが、まずは方針のたたき台を市で作成してからPTA、地域の方にも参画していただくこととなります。メンバーについてはPTA役員、町会役員と相談しながら決めていきます。 特認立ち上げ時の管理職にも入っていただくよう検討します。 ○ 学校の建設にあたっては、関係部局と連携して検討していきます。 ○ 南横山小の活用については、交通手段等、今後検討が必要であるが、9年間を通した小中一貫教育のカリキュラムの中で南横小の自然環境をどのように盛り込むかを研究し、継続した活用ができるよう検討します。 ○ 炭焼きや笹踊りなどの伝統も守りつつ、この地域だからこそ新しいものが生み出せると思うので、地域の方から教えていただきながら、新たな学校づくりをきっかけとして、人と人がつながっていくようなものにしたいと考えます。
--	--

ることで、他校との差も図れるし、近隣の学校や地域にも使っていただけるような施設を検討いただきたい。(要望のみ)

【その他】

- アンケート調査の回収率が低い中での賛否の判断は難しい。学校で子どもを通じ配付されたチラシには分母や回収率が抜けている。今後は正確な情報提供をして欲しい。
- 今後このようなアンケート調査をするときには回収率を上げるように努めます。また、結果についても正確な情報提供に努めます。